

資料 4

一般社団法人

北前船交流拡大機構 地域連携研究所 北前船日本遺産推進協議会

活動状況のご紹介

北前船交流拡大機構・地域連携研究所 理事長代行
株式会社ANA総合研究所 取締役副社長
森 健明

自己紹介

1987 年 4月 全日本空輸株式会社 入社
2004 年 4月 オペレーション統括本部オペレーション管理課リーダー
2010 年 12 月 LCC 共同事業準備室主席部員
2011 年 4月 A&F Aviation 株式会社入社
(同年 5月にPeach Aviation 株式会社に社名変更)
2015 年 12 月 Peach Aviation 株式会社
執行役員 オペレーション・総合企画統括
2017 年 4月 Peach Aviation 株式会社 取締役副社長兼 COO
2018 年 11 月 バニラ・エア株式会社 取締役副社長 兼務
2020 年 4月 Peach Aviation 株式会社 代表取締役 CEO
2023年 4月 株式会社 ANA 総合研究所 取締役副社長
2024年10月 (一社) 北前船交流拡大機構・地域連携研究所理事長代行
現在に至る



「北前船」をテーマに地域を活性化

江戸時代中期から明治30年代にかけて、北海道・東北・北陸・山陰・瀬戸内・関西を結ぶ重要な物流のネットワーク機能を果たし、100年以上も前に日本海側に立派な経済圏を確立させた「北前船」。

その「北前船寄港地」ルートを点から面へ、回廊として発展させようとする「北前船コリドール構想*¹」に賛同した自治体・企業が2007年から「北前船寄港地フォーラム」が開催されてきました。

「北前船寄港地フォーラム」を通じて、地域間の連携は当初の想定以上に拡大し、その活動は国内外の多くの地域へと発展を続け、やがて活動を支える諸団体が設立されました。

*¹ 北前船コリドール構想：作家の石川好氏が提唱

名称	北前船日本遺産推進協議会	(一社) 北前船交流拡大機構	(一社) 地域連携研究所
設立	2017年4月28日	2017年8月9日	2021年1月8日
概要	日本遺産「北前船寄港地・船主集落」の認定を受けた自治体52市町が日本遺産の維持を目的に活動	北前船寄港地やその周辺地域における交流促進、人材育成、相互コミュニティの構築、地域の活性化・観光促進を目的に活動	北前船に限定することなく、広く地域の連携を果たすことを目的に設立 2022年3月に自治体賛助会員制度、同年10月に企業賛助会員制度を発足
構成メンバー	52自治体	ANA総研、JAL、JR東、JR西、JR北海道、JATCO、NAA等の民間会社	ANA総研、JAL、JR東、JR西自治体
役員	会長 宮元 陸 加賀市長	最高顧問 大橋 洋治 (ANAHD相談役) 特別顧問 清野 智 (元JNTO理事長) 名誉会長 新田 嘉一 (平田牧場会長) 岩村 敬 (元国土交通事務次官) 理事長 濱田 健一郎 (元ANA総合研究所会長) 専務理事 浅見 茂 理事 森 健明 (ANA総研副社長) 清水 新一郎 (JAL副会長) 赤石 良治 (JR東日本企画社長)	理事長 濱田 健一郎 専務理事 浅見 茂 企業会員制度代表 赤石 良治 (JR東日本企画社長) 企業会員制度共同代表 森 健明 (ANA総研副社長) 清水 新一郎 (JAL副会長) 理事 本宮 重人 (ANA総合研究所) 自治体賛助会員制度 会長 福原 淳嗣 (衆議院議員) 自治体賛助会員制度 共同会長 大森 雅夫 (岡山市長)
HP	https://www.kitamae-bune.com/	https://www.kitamae.org/	https://chiiki-renkei.org/

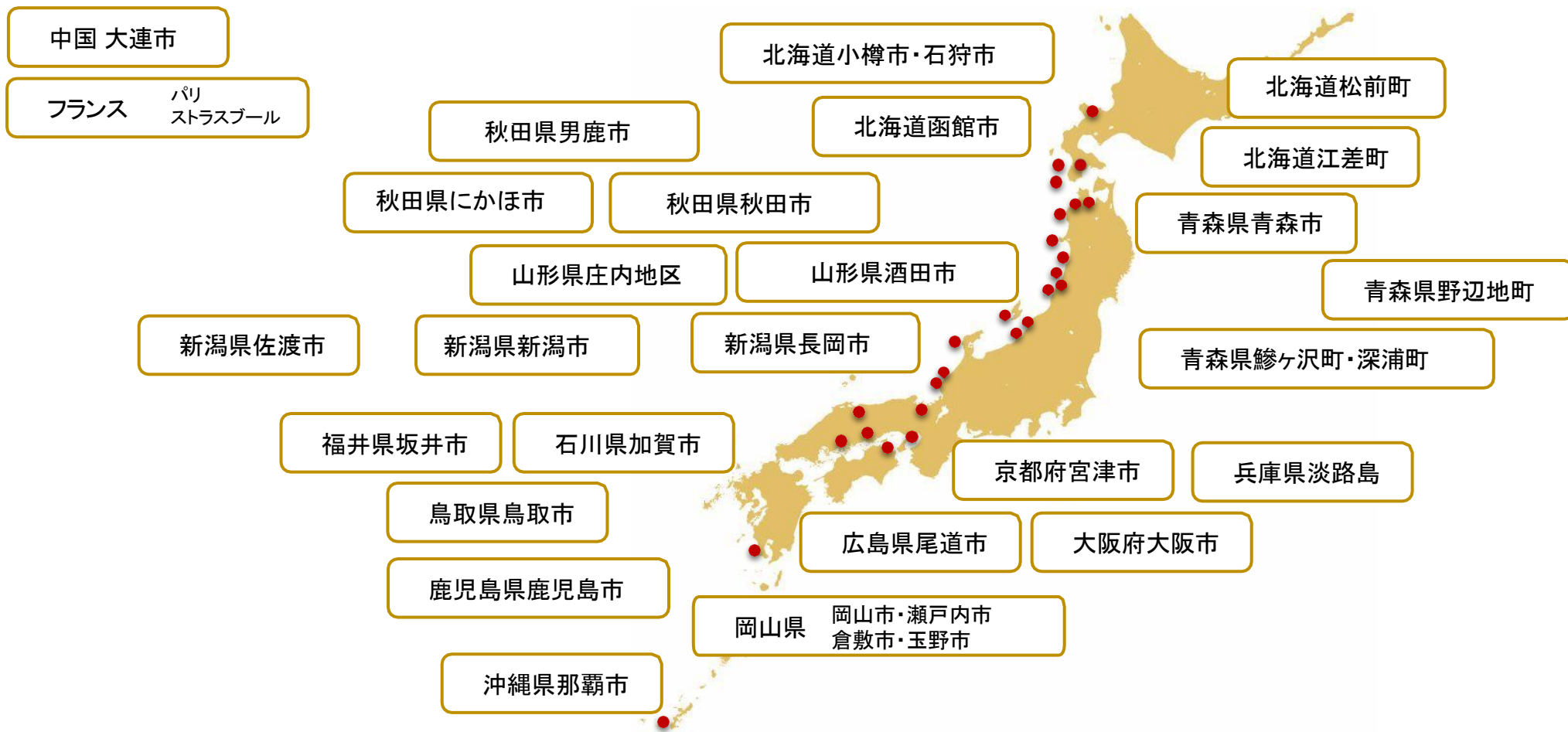
諸団体の活動実績

2007年度	第1回北前船寄港地フォーラム(山形県酒田市)
2008年度	第2回北前船寄港地フォーラム(秋田県にかほ市) 第3回北前船寄港地フォーラム(秋田県男鹿市)
2009年度	第4回北前船寄港地フォーラム(北海道松前町) 第5回北前船寄港地フォーラム(新潟県新潟市) 第6回北前船寄港地フォーラム(新潟県佐渡市)
2010年度	第7回北前船寄港地フォーラム(青森県青森市)
2011年度	第8回北前船寄港地フォーラム(青森県鰺ヶ沢町・深浦町)
2012年度	第9回北前船寄港地フォーラム(北海道函館市) 第10回北前船寄港地フォーラム(新潟県長岡市) 第11回北前船寄港地フォーラム(山形県酒田市)
2013年度	第12回北前船寄港地フォーラム(秋田県男鹿市) 第13回北前船寄港地フォーラム(新潟県新潟市)
2014年度	第14回北前船寄港地フォーラム(秋田県秋田市)
2015年度	第15回北前船寄港地フォーラム(京都府宮津市) 第16回北前船寄港地フォーラム(大阪府大阪市) 第17回北前船寄港地フォーラム(石川県加賀市)
2016年度	日本遺産登録推進協議会発足 第18回北前船寄港地フォーラム(北海道江差町)
2017年度	日本遺産登録認定(11市町) 北前船日本遺産推進協議会の設立 一般社団法人 北前船交流拡大機構の設立 第19回北前船寄港地フォーラム(兵庫県淡路島) 第20回北前船寄港地フォーラム(岡山県岡山市・他3市) 第21回北前船寄港地フォーラム(青森県野辺地町) 第22回北前船寄港地フォーラム(鳥取県鳥取市) 日本遺産魅力発信推進事業(文化庁予算)

2018年度	日本遺産登録認定(27市町) 一般社団法人 北前船交流拡大機構の設立 第23回北前船寄港地フォーラム(中国大連市) 第24回北前船寄港地フォーラム(福井県坂井市) 第25回北前船寄港地フォーラム(新潟県長岡市) 第26回北前船寄港地フォーラム(広島県尾道市) 日本遺産魅力発信推進事業(文化庁予算) 北前船子供交流拡大プロジェクト(日本財団)(青背景やめる)
2019年度	日本遺産登録認定(7市町) 第27回北前船寄港地フォーラム(山形県庄内地区) 第28回北前船寄港地フォーラム(北海道小樽市・石狩市) 第29回北前船寄港地フォーラム(鹿児島県鹿児島市) 日本遺産魅力発信推進事業(文化庁予算) 海洋教育ネットワーク事業(日本財団)
2020年度	日本遺産登録認定(3市町) 一般社団法人 地域連携研究所の設立 海洋教育連携事業(日本財団)
2021年度	第30回北前船寄港地フォーラム(秋田県秋田市) 海と食の学校連携(日本財団)
2022年度	日本遺産登録認定(1市) 第31回北前船寄港地フォーラム(フランス・パリ) 第32回北前船寄港地フォーラム(沖縄県那覇市)
2023年度	第33回北前船寄港地フォーラム(岡山県)
2024年度	日本遺産登録認定(3市町、合計52市町) 第34回北前船寄港地フォーラム(北海道釧路市) 第35回北前船寄港地フォーラム(石川県加賀市、福井県福井市)

北前船寄港地フォーラム (2007～)

北前船の伝統を現代に活かし、その寄港地となった都市が連携して魅力を発信し地方創生に寄与する目的で始まり、2023年10月には33回目の開催を迎えました。その開催地は国内に留まらず、海外にも展開しています。



回	開催日	開催地	テーマ
1	2007年11月15日(木)	山形県酒田市	北前船文化遺産の活かし方
2	2008年04月11日(金)	秋田県にかほ市	現代の北前船を探そう～地域の連携を強化して～
3	2008年09月20日(土)	秋田県男鹿市	蘇れ 北前船が拓いた夢航路
4	2009年05月22日(金)	北海道松前町	「新時代の、北前船浪漫を求めて」
5	2009年07月17日(金)	新潟県新潟市	「北前船スピリット再び」～新潟県に今、求められるものは～
6	2010年03月20日(土)	新潟県佐渡市	「今、佐渡観光に求められるもの」
7	2010年05月28日(金)	青森県青森市	第一部「国際的視点で青森県の観光振興を考える」 第二部「県外・県内から青森県の観光振興を考える」
8	2011年05月28日(土)	青森県鰺ヶ沢町・深浦町	「蘇れ！北前船の絆を今に！」 ～連携による地域活性化と後世への伝承の第一歩～
9	2012年05月25日(金)	北海道函館市	「受け継がれる北前船マインド(絆)」～これからの観光のあり方～
10	2012年09月28日(金)	新潟県長岡市・寺泊	「世界へ広がる海の道、これからの北前船」 ～日本海側の広域連携と世界へ向けた可能性を探る～
11	2013年03月08日(金)	山形県酒田市	「北前船遺産を日本と世界に発信！」 ～庄内の発展と北前船～ ～現代に生きる北前船～
12	2013年07月26日(金)	秋田県男鹿市	「秋田県・男鹿市の観光と産業の発展」～ロシア・韓国・中国との交流推進～ ～エネルギー・環境と今後の秋田の産業について～
13	2013年10月25日(金)	新潟県新潟市	「日本海軸と国上の強靱化―拠点としての新潟―」～「日本海新時代と新潟」～く新潟日報メディアシップ開業記念
14	2014年04月18日(金)	秋田県秋田市	「活かそう、大いなる遺産。いま、知と勇のネットワーク」～秋田を輝かせる人たち30人～ ～未来につなぐ観光秋田の夢・希望～

回	開催日	開催地	テーマ
15	2014年07月25日(金)	京都府宮津市	「つなぐ・結ぶ」～北前船からのおくりもの～ ～貴重な歴史遺産「北前船」を活かした広域連携を考えよう！～
16	2015年07月17日(金)	大阪府大阪市	「北前船出発の地 大阪から」 ～現代版北前船 新・日本海ネットワーク2015～
17	2015年11月13日(金)	石川県加賀市	「北前船文化とおもてなし」
18	2016年11月11日(金)	北海道江差町	「日本の浪漫、北前船が北海道新幹線開業で甦る」 ～今こそ繋ごう観光の絆と言う地方創生新時代～
19	2017年05月12日(金)	兵庫県淡路島	「人の交流による地域創生」
20	2017年07月14日(金)	岡山県岡山市・瀬戸内市 倉敷市・玉野市	「古(いにしえ)からの交通の大動脈鍵『瀬戸内海』と国際交流 ～そして未来へ～
21	2017年09月01日(金)	青森県野辺地町	「むつ湾でつながる観光」～現代の北前船で考える広域観光～
22	2017年11月24日(金)	鳥取県鳥取市	「来たまえ!! 環日本海新時代」～北前船レガシー友情・平和・交流の海へ～
23	2018年05月27日(日)	中国大連市	「海を越えた交流の拡大へ 日本と中国の架け橋に」
24	2018年07月13日(金)	福井県坂井市	「日本遺産で甦る、観光と文化の北前船新時代」 ～港民が紡ぐ異空間 湊・三国スタイル～
25	2018年08月31日(金)	新潟県長岡市	「北前船でつなぐ寄港地交流」～米百俵の精神を次世代へ～
26	2018年11月16日(金)	広島県尾道市	「名産品でつながる北前船寄港地」～地域間交流新時代の幕開け～
27	2019年09月12日(木)	山形県庄内地区	北前船が紡ぐ、新たな日中地方都市間交流
28	2019年10月20日(日)	北海道小樽市・石狩市	北前船往来～日本の繁栄と近代化を支えた絆をふたたび
29	2020年02月02日(日)	鹿児島県鹿児島市	明治維新の力・北前船で広がる交流の輪～令和の新たな輪は海を越えて～

回	開催日	開催地	テーマ
*1	2020年03月14日(土)	島根県浜田市	歴史・文化を活かした地域活性、地方の観光新時代
*1	2020年05月24日(日)	中国大連市	※開催中止 (新型コロナのため)
*2	2020年10月14日(水)	秋田県秋田市	※開催延期 (新型コロナのため)
30	2022年03月18日(金)	秋田県秋田市	北前船で旅した秋田蘭画 つなげる・つながる 世界と未来
31	2022年10月17日(月)	フランス・パリ	日本の食文化を世界に
32	2023年02月03日(金)	沖縄県那覇市	北前船、新たな船出へ～万国津梁の地、沖縄からアジア、そして世界へ～
33	2023年10月06日(金)	岡山県岡山市・瀬戸内市 倉敷市・備前市	北前船と吉備の穴海～海と川が織りなした文化・産業～晴れの国・岡山から世界へ
34	2024年06月29日(土)	北海道釧路市	世界三1大タ1日に集う 食・人・歴史 ようこそ—豊かな大自然に抱かれし宝の大地へ

第35回大会は11月21～23日に、北陸地方の災害復興支援を目的に、石川県加賀市、福井県にて開催。同時に北前船日本遺産推進協議会記念大会を加賀市で開催した。



北前船寄港地フォーラム



2007年より開催してきた「北前船寄港地フォーラム」を母体として、ANA総合研究所、JR東日本・JR西日本・JR北海道・日本航空などが中心となり、2017年8月9日に一般社団法人北前船交流拡大機構が設立されました。

機構を通じて鉄道・航空や旅行などの関連企業が地域活性化の分野で力を合わせ、従来からの理念である、大都市に頼らない「地域間交流拡大」を強化し、地域活性化や国内の観光促進や海外からのインバウンド旅客の誘客拡大を推進しています。



＜機構の活動目的＞

- ① 国内外を含めた地域間交流の拡大
- ② 「日本遺産」ブランドを活用した『北前船』のブラッシュアップ
- ③ 日本各地にある魅力ある有形・無形の文化遺産の知名度アップ
- ④ 国内外から各地への観光誘客と交流人口の拡大による地域活性化

＜協力企業（順不同）＞

ANA総合研究所、東日本旅客鉄道、西日本旅客鉄道、北海道旅客鉄道、日本航空、、日本政策投資銀行、成田国際空港、日本空港ビルディング、平田牧場（山形）、 イマジン（青森）他

北前船日本遺産推進協議会の活動 (2017年から)

2015年7月の「第16回北前船寄港地フォーラム（大阪市）」において、秋田市商工会議所会頭より「北前船寄港地文化の日本遺産登録」の提案・決意表明を受け、2016年6月に26自治体で「日本遺産登録推進協議会」を発足、

「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」

として日本遺産登録を申請し、2017年に11自治体が認定されました。同年、日本遺産魅力発信推進事業を推進するため、認定自治体により「北前船日本遺産推進協議会」が設立されました。現在の認定自治体は52自治体に拡大しています。

ガイドなどの人材育成、観光地整備支援、観光事業化支援、地元における普及啓発支援、SNSメディアを活用した情報発信を通じて、各市町の魅力ある有形・無形の文化財軍の知名度をさらに高め、観光誘客や交流人口の拡大などにより地域活性化を図ることを目的としています。



日本遺産

日本遺産
日本国内の文化や歴史、伝統などの貴重な遺産を保護・活用し、その価値を広く国内外に紹介するための取り組みで、文化庁や関連団体が中心となって推進している。



日和山公園（酒田市）



加賀市加賀藩立伝説的建造物群保存地区（加賀市）

分類：シリアル / 認定ストーリー 39

■タイトル

荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間
～北前船寄港地・船主集落～

■所在自治体

北海道（函館市・松前町・小樽市・石狩市）・青森県（鯉ヶ沢町・深浦町・野辺地町）・秋田県（秋田市・にかほ市・男鹿市・能代市・由利本荘市）・山形県（酒田市・鶴岡市）・新潟県（新潟市・長岡市・佐渡市・上越市・出雲崎町）・富山県（富山市・高岡市）・石川県（加賀市・輪島市・小松市・金沢市・白山市・志賀町）・福井県（敦賀市・南越前町・坂井市・小浜市）・京都府（宮津市）・大阪府（大阪市・泉佐野市）・兵庫県（神戸市・高砂市・新温泉町・赤穂市・洲本市・姫路市・たつの市）・鳥取県（鳥取市）・島根県（浜田市）・岡山県（倉敷市・備前市）・広島県（尾道市・呉市・竹原市）・香川県（多度津町）

■ストーリーの概要

日本海や瀬戸内海沿岸には、山を風景の一部に取り込む港町が点々とみられます。そこには、港に通じる小路が随所に走り、通りには広大な商家や豪大な船主屋敷が建っています。また、社寺には奉納された船の絵馬や模型が残り、京など遠方に起源がある祭礼が行われ、節回しの似た民謡が唄われています。これらの港町は、荒波を越え、動く総合商社として巨万の富を生み、各地に繁栄をもたらした北前船の寄港地・船主集落で、時を重ねて彩られた異空間として今も人々を惹きつけてやみません。

■問い合わせ先

北前船日本遺産推進協議会
石川県加賀市大聖寺南町二41番地
TEL：0761-72-7988 FAX：0761-72-7991
E-mail：bunkasuishin@city.kaga.lg.jp

構成文化財など詳しくはこちら ↓



一般社団法人 地域連携研究所の活動（2021年から）

北前船交流拡大機構の活動により培った経験、実績、信頼関係をもとに北前船寄港地に限定することなく、広く地域の連携を果たすことを目的に、2021年1月に設立されました。

2022年3月に自治体賛助会員制度を発足させ、翌2023年2月には企業賛助会員制度も発足し、“『大都市と地方』の関係で地方振興を図るのではなく、『地方の地域同士』が直接ネットワークを構築し地域の活力を生み出そう”という北前船交流拡大機構の考えはそのままに、より広域の活動を担い、地域課題の解決手法を模索、提案するプラットフォームとして地方自治体と民間企業との連携を促進して地域の様々な課題解決に取り組んでいます。



主な活動

- ① 全国各地域の活性化及び振興に関する事業
- ② 全国各地域に関する調査、研究、情報の収集及び提供に関する事業
- ③ 講習会、セミナー、イベント等の企画、立案、運営および実施に関する事業
- ④ 文化および観光の振興並びに交流の促進に関する事業
- ⑤ 地域振興、地域連携の構築、国内外における交流促進等に関わる個人、団体等との連絡、相談、支援、指導及び連携に関する事業。
- ⑥ その他地域の活性化及び観光の促進に資するための一切の事業

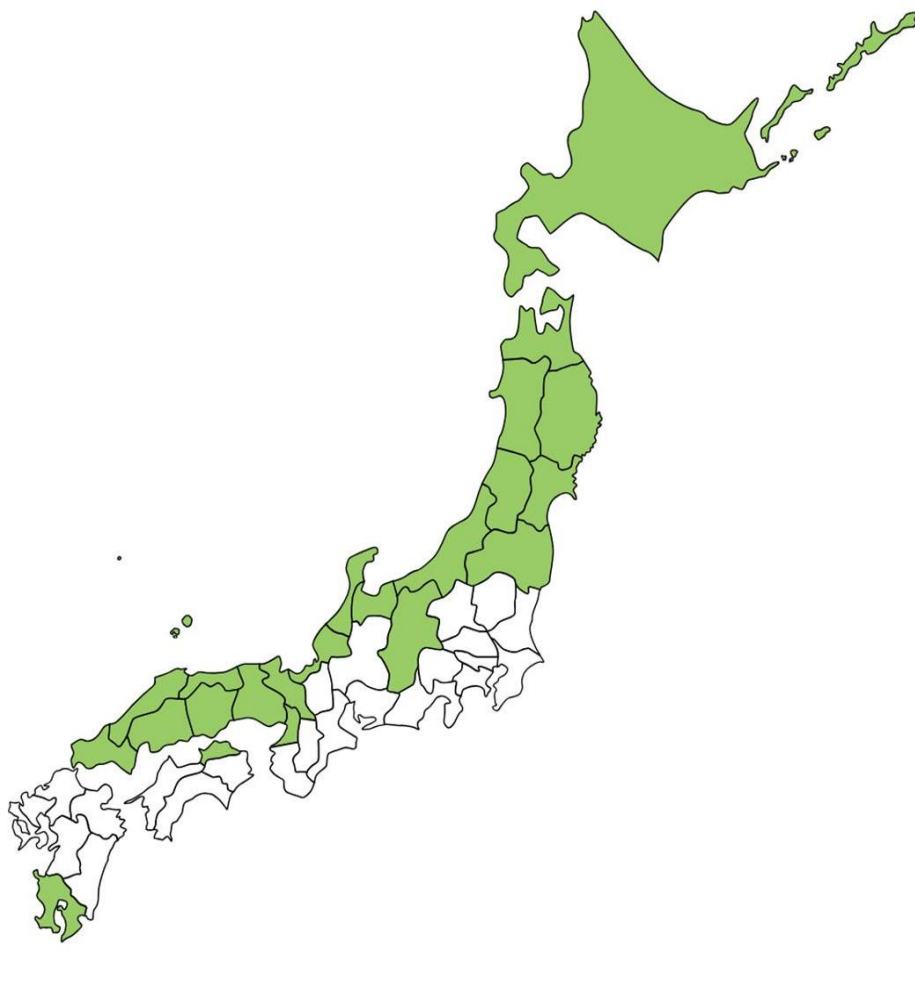


一般社団法人

地域連携研究所

北前船交流拡大機構・地域連携研究所

**北前船交流拡大機構等参加自治体
(23道府県122自治体)**



民間企業は48社が参画

主な加盟企業

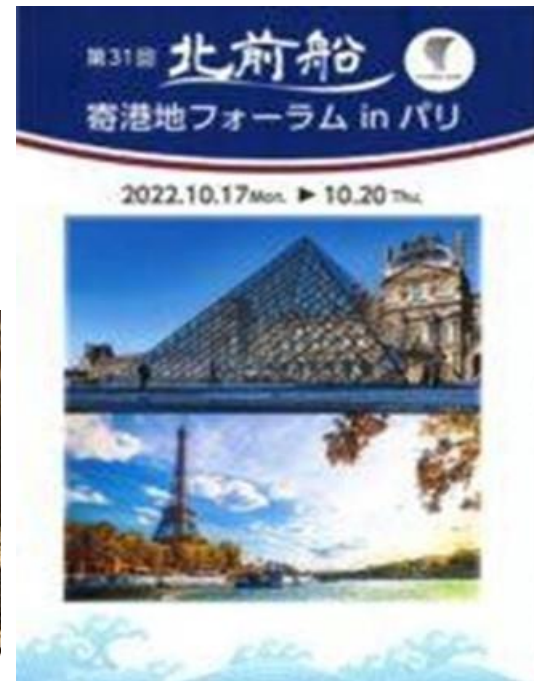
日本航空株式会社
株式会社ANA総合研究所
庄内空港ビル株式会社
宮崎空港ビル株式会社
秋田空港ターミナルビル株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
西日本旅客鉄道株式会社
株式会社日本旅行
東武トップツアーズ株式会社
株式会社木下グループ
株式会社共同テレビジョン
株式会社奥井海生堂
株式会社BRIDGE MULTILINGUAL SOLUTIONS
一般社団法人長崎国際観光コンベンション協会
一般財団法人渋谷区観光協会

地方の伝統工芸品の欧州展開事業

2022年10月に「第31回北前船寄港地フォーラムinパリ」が開催されました。JETRO・JNTO・CEEJA & 北前船交流拡大機構との連携による「北前船交流拡大機構フランス大会」として開催され、その中の一つとして当機構主催の「北前船寄港地フォーラム」も開催されております。

大会のテーマを「**日本への関心を再喚起！ 食と文化を世界へ発信**」とし、ルーブル美術館での「フォーラム」のほか、JNTO主催の「地方誘客セミナー」やJETRO主催の「日本食材等の販路開拓支援事業」、CEEJA主催の「日仏自治体首長会議」など数多くのイベントが開催されました。

（注）CEEJA：フランスのアルザス・欧州日本学研究所



パリにおける伝統工芸品・日本食や文化（お祭り）などの紹介は大きな反響を呼び、日本への関心の高さを感じ、2023年4月から実施しているミラノフォーリサローネにおける地方の伝統工芸品展示事業のきっかけとなりました。国内消費のみに頼ることなく、地方が積極的に直接海外に打って出る事で、地方の伝統工芸品の販路拡大を目指し、地方経済の活性化と工芸品の後継者への継承をめざしてまいります。



ミラノ・フォーリサローネへの出展 (2024年4月)

備前市より「備前焼き」、大館市より「曲げわっぱ」をミラノ大学構内に展示し、作家、産地事業者による作品説明を行うと同時に、世界的デザイナー喜多俊之氏によるトークセッションを開催。



ミラノ・フォーリサローネへの出展 (2025年4月)

福井県、秋田県に加え輪島市、備前市の伝統的工芸品の展示、日本酒の試飲会を行った。

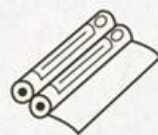
Maestri artigiani che oltrepassano il tempo e infondono l'anima: il fascino dell'artigianato giapponese.

時を超え魂を吹き込む職人たち：日本の工芸の魅力

Un'arte tradizionale giapponese che affonda le radici in mille anni di storia. Una mostra che celebra la bellezza senza tempo dell'artigianato e dell'arte, creata da maestri artigiani e artisti delle prefetture di Fukui e Akita, che incarnano l'essenza stessa del Giappone. Lasciatevi trasportare in un viaggio di emozioni, accompagnato dall'esperienza della cultura giapponese.

福井

Fukui Prefecture



ECHIZEN-WASHI
Washi Echizen



ECHIZEN-SHIKKI
Laccatura Echizen

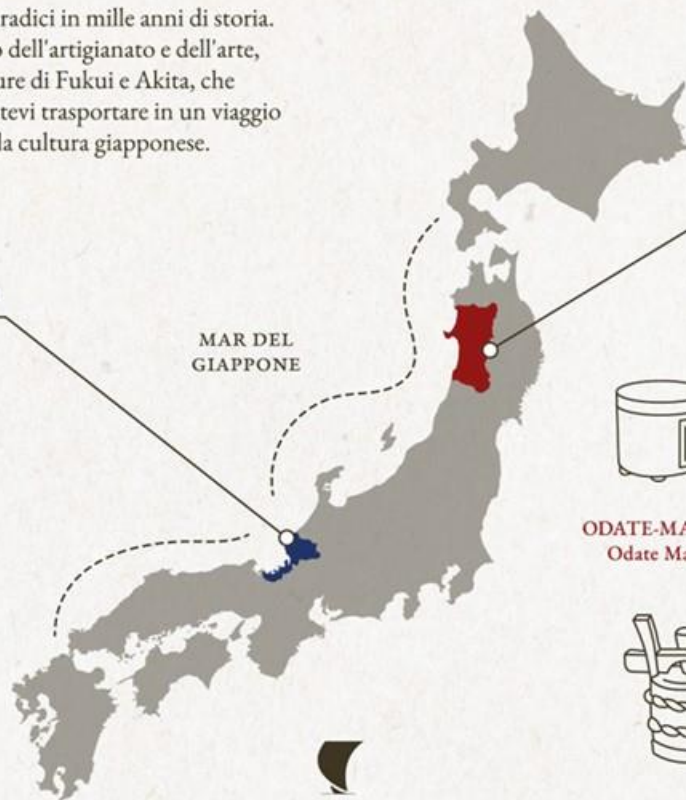


ECHIZEN-YAKI
Ceramiche Echizen



WAKASA-NURI
Laccatura Wakasa

MAR DEL
GIAPPONE



秋田

Akita Prefecture



ODATE-MAGEWAPPA
Odate Magewappa



KAWATSURA-SHIKKI
Laccatura Kawatsura



AKITA-SUGIOKEDARU
Cassa di cedro di Akita

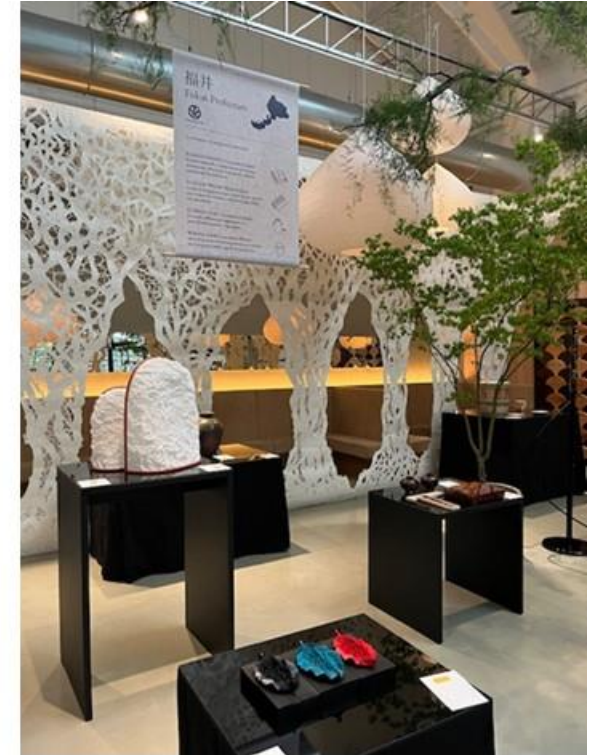


KABAZAIKU
Kabazaiku



KITAMAE-BUNE
rotta navale commerciale

ミラノ・フォーリサローネへの出展 (2025年4月)



ミラノフォーリサローネへの出展の目的と意義

伝統工芸品の輸出入取引においては、産地と海外バイヤー間の信頼関係の構築が重要であることや、また輸出入取引に関わる諸手続き、輸送ルートの確保など、地方の産地の個別事業者が対応することには課題が多い状況にあります。

一方で、当機構の関連自治体の産地の中には、すでに独自に海外展開をしている事業者や海外拠点を持つ企業などがあり、それらのノウハウを共有することが可能です。

また、単独自治体や産地による欧州展示事業が難しい場合でも、機構を通じて複数自治体や産地をまとめて展示する事によりコスト面でのメリットを享受することが可能です。

欧州における伝統工芸品の位置づけは、「日常使い」のCRAFTのみならず「資産」としてのARTとしての価値もあり、金融機関などが積極的に工芸品取引に関与している実態もあり、今後は日本の金融機関（地銀も含めて）との連携を強化していくことも重要だと認識しています。

海外展示事業を継続し、日本の伝統工芸品・日本酒や文化の認知度向上を目指すと同時に、加盟自治体や産地・企業が有する海外バイヤーや富裕層の情報を共有し、将来的には日本からの輸送サポートを行い、地方の産地が海外展開をするチャンスを提供して参ります。

ご清聴ありがとうございました



各地に展示されている北前船のレプリカ